

平成24年11月26日

各位

西日本シティ銀行
NCB リサーチ&コンサルティング

消費者動向調査 No.111 「冬のボーナス使いみち調査」 ～ 特別テーマ「主婦の『消費税増税に対する』意識調査」～

西日本シティ銀行(頭取 久保田 勇夫)は、消費者動向調査を定期的を実施しております。今般、当行の連結子会社である NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「冬のボーナス使いみち調査」を実施いたしました。また、本年8月10日に消費税増税法が成立したことを受け、特別テーマとして「主婦の『消費税増税に対する』意識調査」を合わせて実施し、調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

記

「冬のボーナス使いみち調査」

調査結果要約

調査時期：平成24年10月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人
(うち回答者479人、回答率95.8%)

- ㊦ 今年の冬のボーナス支給予想、前年冬と比較して「多くなる」は4.8ポイント増加。前年冬よりも、ボーナスが「多くなる」は4.8ポイント増加し11.3%。「少なくなる」は6.7ポイント減少し19.9%。
(調査結果本文2P)
- ㊦ 冬のボーナスの使いみち予定、1位は「貯蓄」で62.8%。2位は「旅行・レジャー」で36.7%。冬のボーナス支出予定1位の「貯蓄」は62.8%で、前年冬の53.0%より9.8ポイント増加した。2位の「旅行・レジャー」は8.7ポイント増加して36.7%。
(調査結果本文3P)
- ㊦ ボーナスを貯蓄する目的、1位は「将来の教育費のため」で41.5%。2位は「将来の生活費補てんのため」で37.8%。
景気の先行きや雇用に対する不安は依然強く、将来への備えが上位を占めている。
(調査結果本文4P)
- ㊦ 冬のボーナスを貯蓄する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が55.1%で1位。景気回復の動きに足踏みが見られる中、安全性を重視する割合が引き続き高水準。
(調査結果本文5P)
- ㊦ 関心がある金融商品、1位は「預貯金」で今年の夏より0.7ポイント増加し79.1%。「預貯金」への関心は、年々高まり79.1%。
(調査結果本文6P)
- ㊦ 冬のボーナス、自由に使える金額は、前年冬に比べて夫は2千円アップ。妻は1千円アップ。
ボーナスが「多くなる」と予想する割合が増加したのを反映し、「自由に使える金額」は前年冬から若干増加した。
(調査結果本文7P)

調査結果本文は[こちら](#)

・特別テーマ「主婦の『消費税増税に対する』意識調査」

調査時期：平成24年10月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人
(うち回答者479人、回答率95.8%)

調査結果要約

- 増税前に購入を検討しているものはあるか：
『検討しているものがある』は24.0%、『今後検討したい』は26.5%、『検討していない』は49.5%。
『検討しているものがある』と『今後検討したい』の合計は50.5%で、『検討していない』の49.5%を若干上回った。
(調査結果本文1P)

- 検討しているものがある方と答えた方、購入を検討しているものは何か：
『自動車』は53.0%、『家電製品』は48.7%。
年代別では、20～50代は『自動車』の回答が一番多かった。
(調査結果本文2P)

- 今後検討したいと答えた方、購入を検討したいものは何か：
『家電製品』は54.3%、『自動車』は52.8%。
年代別では、20代、30代、50代は『家電製品』の回答が一番多かった。
(調査結果本文3P)

以上

調査結果本文は[こちら](#)

この調査に関するお問い合わせ先は			
西日本シティ銀行	広報文化部	近道・青谷	TEL 092-461-1869
NCB リサーチ&コンサルティング 調査部	原		TEL 092-476-3051

当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。